

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



「前進」

昨年、十月に山梨県都留市のリニア新幹線実験場へ視察に行ったことについてお知らせいたします。実験場の全長は、約四十キロ、ほとんどがトンネル内にあり高低差約四百メートルの場所にあります。この実験場の線路も現在建設が行われているリニア中央新幹線東京―名古屋区間の一部となっています。完成は、七年後の令和九年となっていますが、本来の計画では東京二〇二〇までに間に合わせる予定だったようです。

リニア見学センターから走行の様子を見ましたが、大きな音だけが聞こえ、速すぎて通過したのが分からないという様子でした。実際に乗車すると時速百三十キロまでは車輪走行を行いその後、超電導磁力で車体が浮き上がり、時速は一気に五百キロまで上がりました。実験場の端まで行くと今度は、後ろ向きのまま同じ様に時速五百キロで走行します。今まで経験したことのない感覚でした。



このリニア中央新幹線が完成すると東京―名古屋間を約三十分で結ぶこととなります。令和九年の世の中を想像すると社会インフラの整備とともに国民生活が激変していると思います。前回の東京オリンピック後の世の中が大きく変化したことは、社会科の教科書に記されていますが、今回の東京二〇二〇後の日本の変化はどのように記されるのでしょうか。このことを考えるだけでわくわくしてきます。



新型コロナウイルスによる肺炎対応で世の中も自粛ムードとなつていますが、このような時だからこそ未来を担う子供たちのために何が必要かと考え行動していきたいと思えます。最後になりましたが、今年度も全日教連、教文研活動を支えていただいたことにつきまして心より感謝申し上げます。

先生のためのマナープランコラム

ファイナンシャルプランナーからのお便り
「新型肺炎とBCPについて」
特別編



今回は、資産形成から少し離れた「新型肺炎とBCP」についてお伝えしたいと思えます。BCPとは「Business Continuity Plan」の略で、日本語では「事業継続計画」と訳されます。大規模な災害が発生した時に、企業(組織)がいち早く元の状態に戻り、存続すべく事前に作成しておく計画です。二〇二〇年のアマ

リ力同時多発テロ事件で多くの企業が生き残れなかつた中、BCPを事前に作成・訓練していた企業は数日以内で事業に戻ることができました。日本では、二〇一一年の東日本大震災の際に、BCP作成の有無が事業継続の成否を分けたポイントのひとつになりました。地震大国の日本では、地震に備えるBCPが主流ですが、元々今回の新型肺炎のような疫病のパンデミックに備えるために作成されてきました。今回の新型肺炎についても、政府として、医療機関として、企業として(クルーズ船運営会社など)、学校として、家族として、個人としての判断が求められています。この機会に、それぞれの立場でのBCPを作成、また作成しているところは見直しをしたいものですね。

F P ラボ代表 伊藤祐一



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



- 一日 第二一四回全日教連執行委員会 (東京・全日教連事務所)
- 二日 第八十二回全日教連評議員会 (東京・都市センターホテル)
- 七日 大川パワーアップ研修会(津田働く婦人の家)
- 八日 令和元年度香教連中央評議員会
第六回会長・事務局長会
第三回執行委員会(香川県教育会館)
令和元年度教育講演会(ミューズホール)
- 一日 建国記念日
- 二三日 令和元年度第二回徳教団・香教連・鳴教大
教職大学院会員との情報交換会(鳴門市
坂出評議員会(勤労福祉センター))
- 一五日 第四回給与法制局会議 (東京・全日教連事務所・一六日)
- 一八日 公益財団法人日本教育公務員弘済会香川支部
理事会・幹事会(香川県教育会館)
令和元年度第二回公開シンポジウム
(香川県教育会館)
高松評議員会(香川県教育会館)
- 一九日 香川県教育会館理事会(香川県教育会館)
- 二〇日 丸亀評議員会(県立丸亀競技場)
- 二三日 天皇誕生日
- 二五日 一般財団法人香川県教職員互助会理事会
公立学校共済組合香川支部運営審議会
(ルポール讃岐)
- 二七日 教生協理事会(香川県教育会館)